

○AI基礎 I (担当教員：近藤/ 和田)

7月までの実施内容：

- 生成AIの導入(インストール方法、ログイン、注意点)/
- 生成AIの活用実践
(文章要約、動画の内容要約、ハルシネーション)
- Pythonの導入(Google Colabのログイン、基本的文法)
- Python演習
(文法、APIの使用、グラフ作成、データ分析・予測)

2025年度_1年次のAI関連講座の実施報告

○AI基礎 I（担当教員：近藤/ 和田）

授業の進め方

課題を提示（1コマに1つではなく、まとめて複数进行提示）



課題実施



課題に対するGPTsによる理解度チェック

（問題と回答を読み込ませるとAIが7問出題する）



課題提出

2025年度_1年次のAI関連講座の実施報告

○AI基礎 I（担当教員：近藤/和田） - GPTsの例

課題例：

OpenWeatherMap などの天気情報 API を利用し、指定した都市の天気情報を取得・表示するプログラムを作成してください。

コードありがとうございます！構文 & 実行とも問題ありませんでした 😊

実行結果もFukuokaの天気情報として適切に表示されていますね。

では7問いきますね。

【Q1】このプログラムで `'units': 'metric'` を指定している理由は何ですか？ 🛠️

温度などの情報を摂氏で取得し、日本語表示と合わせて分かりやすくするため。

● 正解！ナイスです ✨

ひとこと解説: `'units': 'metric'` を指定すると温度が摂氏（℃）で返されます。デフォルトだとケルビンになるので、分かりやすくするための工夫ですね。

【Q2】 `response.raise_for_status()` が呼ばれるのはどんなとき？また、何のために使っていますか？ ⚠️

無効の都市名など ↓ APIエラーがあったとき、それにすぐ気づけるようにするため。

🎉 これで試験は終了です 🎉

得点は 7 / 7 点 でした。

総評: 理解も説明もバッチリで、実装力もばっちり！このレベルならAPI活用の応用もどんどん挑戦できます。お疲れさまでした

✨

質問があれば遠慮なくどうぞ～

○AI基礎 I（担当教員：近藤/和田）

現状の課題点

- 生成AIを利用した学習スピードは想定よりも速い。

後期に計画していた内容も前期の段階ですでに扱っている。

- ITリテラシーの評価も、課題実施に伴い、スコアは上昇傾向。
- ただし、学習深度は浅めの印象がある。

とりあえず、出力が出たらよい、という認識の様子。

- 各課題に対する「理解度」の評価ができていない。

理解度チェックはコードを書かなくとも、コードがエラーになろうとも、ChatGPTの答えをそのまま回答したら通過できてしまっている。

→教員側で自動採点できる仕組み、もしくは口頭試問等の確認方法を模索。

参考) ITリテラシーテストのスコア推移

